

平成24年度香取市の財務書類4表（概要版）

1. はじめに

地方公共団体の会計については、以前より、単年度の現金収支にかかる財政指標だけでなく、市が保有する資産や将来返済しなければならない負債などのストック情報をはじめ、行政サービスを実施するために要した費用など、財政状況を総合的かつ長期的に把握し、その状況をより明確にするため、企業会計的手法の導入が求められていました。

このような状況のなか、平成18年8月に総務省から「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が示され、各地方公共団体は、財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）と、関係する情報の開示に取り組むこととなりました。

また、この財務書類の整備の目的は、単に書類を作成・公表するだけでなく、市民等に対し、財政状況を適切に情報開示することや、庁内における行財政運営に活用する仕組みを併せて検討・実施することにあるといわれています。

香取市では、平成19年10月に国（総務省）が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」の『総務省方式改訂モデル』に基づき、財務書類4表を作成しました。

2. 香取市の普通会計財務書類4表

(1) 貸借対照表（バランスシート）

H25.3.31現在（単位：千円）

借 方		対前年度 増減額	貸 方		対前年度 増減額
[資産の部]			[負債の部]		
1 公共資産	93,823,411	2,724,498	1 固定負債	42,768,677	3,015,464
2 投資等	9,765,943	471,535	2 流動負債	3,288,757	210,872
3 流動資産	10,578,244	267,504	負債合計	46,057,434	3,226,336
			[純資産の部]		
			純資産合計	68,110,164	237,201
資産合計	114,167,598	3,463,537	負債・純資産合計	114,167,598	3,463,537

- 資産総額は約1,142億円、負債総額は約461億円で、純資産総額は約681億円です。
- 資産総額については、公共資産において、小見川市民センター整備や学校給食センター統合整備など大規模工事が多かったため有形固定資産が増加し、投資等でも特定目的基金の積立等による増加があったことから、約35億円の増となっています。
- 負債総額については、固定負債で公共施設整備に費やした地方債（合併特例債等）が増えた影響により、約32億円の増となっています。
- 純資産については、流動資産等の増加により約2億円増えています。
- 市民一人当たりになると、資産は約138万円、負債は約56万円となっています。

※人口は、平成25年3月31日現在の82,838人を使用（以下同じ）。

(2) 行政コスト計算書

H24.4.1～H25.3.31(単位:千円、%)

区分	平成24年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率(%)	構成比(%)
経常行政コスト a	25,842,983	△ 1,518,780	△ 5.6	
1 人にかかるコスト	5,632,841	△ 250,956	△ 4.3%	21.8
2 物にかかるコスト	6,174,510	△ 439,967	△ 6.7	23.9
3 移転支出的なコスト	13,499,033	54,080	0.4	52.2
4 その他のコスト	536,599	△ 881,937	△ 62.2	2.1
経常収益 b	793,726	63,956	8.8	
使用料・手数料等	793,726	63,956	8.8	
純経常行政コスト a-b	25,049,257	△ 1,582,736	△ 5.9	

- 経常行政コストは約258億円、経常収益は約8億円で、純経常行政コストは約250億円です。
- 経常行政コストは移転支出的なコスト（扶助費、補助費、繰出金等）が約135億円と全体の52.2%を占め、次いで、物にかかるコスト（物件費、維持補修費、減価償却費等）が約62億円で23.9%となっています。
- 人にかかるコストにおいては、職員人件費が減ったこと等により約3億円の減となっており、物にかかるコストでは平成23年度に発生した住宅応急修理や災害廃棄物処理事業等の災害復旧経費が平成24年度に減少したこと等から、約4億円の減となっています。また、その他コストについても債務負担行為の長期未払い金が減ったこと等により約9億円の減となり、経常行政コスト全体では約15億円の減となっています。
- 使用料・手数料等が増えているのは、寄附金の増や施設使用料の増収等によるものです。
- 市民一人当たりの純経常行政コストは、約30万円となっています。

(3) 純資産変動計算書

H24.4.1～H25.3.31(単位:千円)

区分	金額
期首純資産残高	67,872,963
純経常行政コスト	△ 25,049,257
一般財源	20,244,336
うち地方税	8,141,627
うち地方交付税	9,692,929
うちその他	2,409,780
補助金等受入	7,908,459
資産評価替えによる変動額	18
その他	△ 2,866,355
期末純資産残高	68,110,164

(4) 資金収支計算書

H24.4.1～H25.3.31(単位:千円)

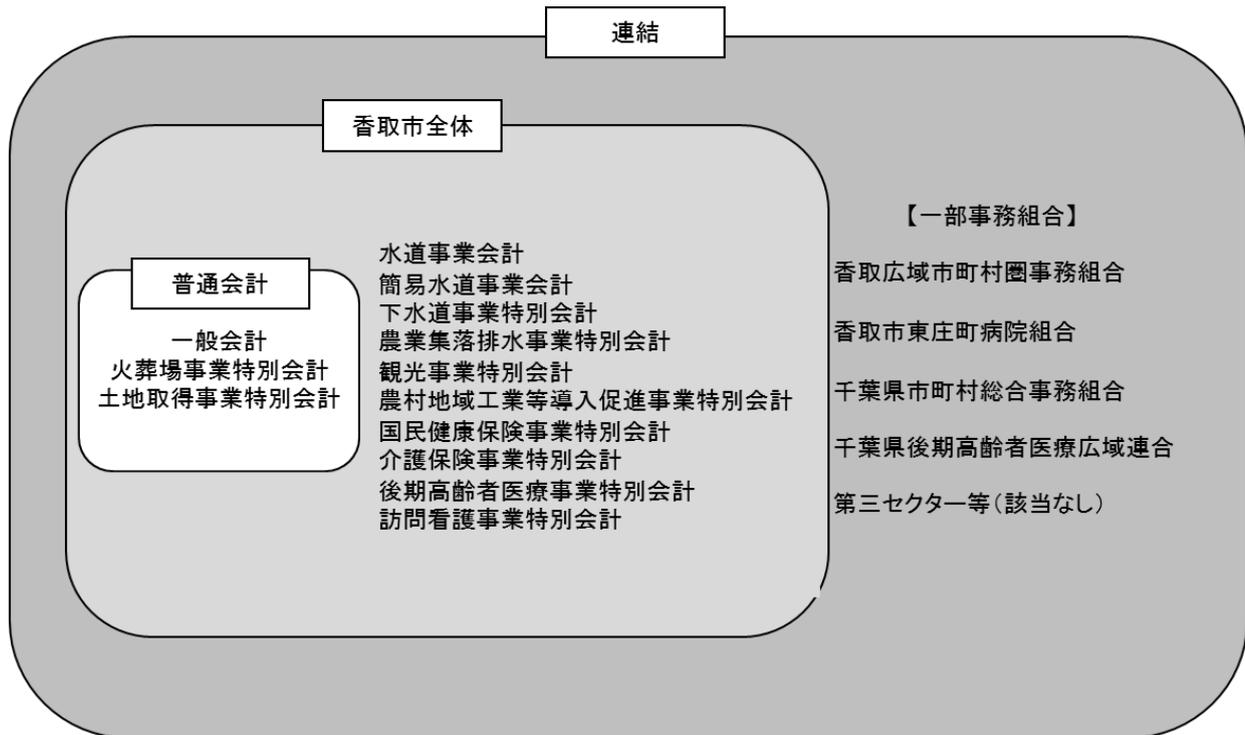
区分	金額
1 経常的収支額	5,392,959
2 公共資産整備収支額	△ 1,459,421
3 投資・財務的収支額	△ 4,866,487
当年度歳計現金増減額	△ 932,949
期首歳計現金残高	4,694,803
期末歳計現金残高	3,761,854

- 純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを表しています。平成24年度の期末残高は、補助金等受入が増えたこと等から、約2億円の増となっています。
- 資金収支計算書は、現金ベースで1年間の資金の流れ（フロー）を表しています。平成24年度は、地方交付税（震災復興特別交付税）等が減ったことから、期末歳計現金残高が約9億円の減となっています。

3. 香取市の連結財務書類

連結財務書類は、普通会計に、水道や国民健康保険などの特別会計と、市が加入している一部事務組合を含めています。

《香取市における平成24年度の連結対象範囲》



連結貸借対照表（バランスシート）

H25.3.31現在(単位:千円)

借	方	対前年度 増減額	貸	方	対前年度 増減額		
[資産の部]			[負債の部]				
1	公共資産	147,754,759	7,014,033	1	固定負債	66,623,951	2,000,089
2	投資等	8,538,714	803,163	2	流動負債	5,901,305	430,889
3	流動資産	14,280,564	468,733	負債合計		72,525,256	2,430,978
4	繰延資産	55,821	△ 7,337	[純資産の部]			
資産合計			170,629,858	8,278,592	純資産合計	98,104,602	9,645,890
					負債・純資産合計	170,629,858	12,076,868

- 資産総額は約1,706億円、対する負債総額は約725億円で、純資産総額は約981億円です。
- 市民一人当たりによると、資産は約206万円、負債は約88万円となっています。
普通会計一人当たりと比較すると、資産で約68万円、負債で32万円それぞれ増加しています。